

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

健康推進課

1 施設の概要等

施設名	府中市精神障害者及び身体障害者共同作業施設		
所在地	府中市本山町530番地260		
設置目的	障害者が「基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう」必要な手続きを行うことを目的とする。		
施設・設備	作業室、調理室、車庫、駐車場		
指定管理者	R4.4.1	～	R7.3.31 社会福祉法人すばる

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	R4	570 人	374 人	18 人	-196 人	65.6 %
R5	570 人	217 人	-157 人	-353 人	38.1 %	
R6	人	人	人	人	%	
R7	人	人	人	人	%	
R8	人	人	人	人	%	
増減理由	令和4年度は施設の利用日を週2回としていたが、令和5年度途中から利用日を週1回に変更した。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	<b>【実施方法】</b>	<b>【対象・人数】</b>
	自主製品づくり等についての記名式アンケート実施	わかば利用者全員対象、回答10件
	<b>【主な意見】</b>	<b>【その対応状況】</b>
	喫茶店等で販売できるような製品(革製品・クラフト作品・編み物等)づくりに取り組みたい。	喫茶店での委託販売を目指し、作品を製作している。
	喫茶やパン作りをやってみたい。	検討中。

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考			
報告書	年度	○	事業報告書			
	月報	×				
	日報(必要随時)	○	修繕完了報告書、その他(提案、要望及び苦情等)			
管理運営会議		<b>【特記事項等】</b>				
2回	会場 社会福祉法人すばる	・利用状況等について報告をもらい提案をし、意見交換協議を行った。				
現地調査 (実施月)		<b>【指定管理者の意見】</b>				
1月	2月	3月	4月	5月	・引き続き報告と意見交換協議を実施。	
			○		<b>【市の対応】</b>	
6月	7月	8月	9月	10月	・労働条件チェック(毎年4月)	
				○	・施設視察(毎年4月10月)	
11月	12月					

## 5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	0	0		R4	3,100	-
	R5	0	0	R5	1,795	-1,305	
	R6			R6			
	R7			R7			
	R8			R8			

## 6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R4決算額	R5決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	0	0	0	
	料金収入	3,100	1,795	-1,305	令和5年度途中から週1日開催に減
	その他収入	0	0	0	
	計(A)	3,100	1,795	-1,305	
	支出				
	人件費	738	742	4	
	光熱水費	80	61	-19	施設利用時間の減
	設備等保守点検費	0	0	0	
	清掃・警備費等	0	0	0	
施設維持修繕費	0	0	0		
事務局費	11	9	-2		
その他支出	30	17	-13	昼食代補助の減	
計(B)	859	829	-30		
収支①(A-B)	2,241	966	-1,275		
自主事業	収入(C)	0	0	0	
支出(D)	0	0	0		
収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)	2,241	966	-1,275		

## ※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

## ※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
<p>総括</p>	<p>平成30年に費用約240万円の改装工事を行なうなどして施設を整備し、府中市における精神障害者の日中活動の場として確立できるよう運営を行っている。本山の施設は、障害福祉サービス事業所わかばの二つ目の事業場として維持管理を行ってきた。</p> <p>わかばの利用者は主に精神障害の方で、外出が出来にくくなったり人とのつながりを維持することが難しい等の特性が多くあり、本山施設の利用者も増えにくい状況がある。また、職員配置上の理由により、令和5年度途中から利用日が週2日から週1日へ減少した。</p> <p>そうした中でも調理実習や内職作業、ものづくり等を行なうことにより、本山施設があることで通所が定着したり、食事への意識が向上する等の変化もあり、安心して利用してもらえる施設として活用している。</p>	<p>施設の維持管理について、適切に行われている。利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響や、精神障害者の方の特性により人(他人)と一緒に作業をすることが困難なことも影響しており、目標値を大幅に下回っている。配慮の必要な利用者ではあるが利用促進に向けた取組みや広報の意識が必要である。</p>

## 8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
<p>課題と対応</p>	<p>○わかば全体での職員の異動・配置転換等もあり、本山施設の利用については現状の週1回から増やすことは難しいが、経験年数の長い職員が多くなっているため、専門性を活かした利用者対応を行なう。</p> <p>○本山施設の利用者は固定しがちな傾向があるが、今年度は自主製品づくりに重点を置き、新たな利用者を増やす取り組みを行なう。</p>	<p>○利用者数増加への新たな取組</p> <p>○計画的な施設整備の実施</p>